

## 平成 29 年度市長とのタウンミーティング要旨

日時	平成 29 年 11 月 19 日 10:30~12:00	会場	光明台北小学校体育館	来場者数	27 人
----	----------------------------------	----	------------	------	------

### ◆意見交換の概要

テーマ「新庁舎整備基本計画（案）」について	
市民の意見・質問	市の回答
駐車場が原則有料化されることについて、無料時間の設定はあるか。	現時点では料金体系は未定だが、シティプラザなど他の公共施設駐車場の料金体系を踏まえて、検討を進める。
トイレの面積を広くとってほしい。	今後、基本設計において検討する。
概算事業費の約 85 億 6 千万円の財源として、市の負担はいくらとなるか。	国庫補助金と交付税措置を除いた約 76 億 1 千万円となる。
車で府道から庁舎敷地へ進入するとき、右折車両で渋滞しているが、その対策はどのようなものか。	交差点改良、右折車線等の整備を検討している。
議場の傍聴席は何席設けるのか。	基本設計において検討を進める。
セキュリティへの配慮と同時に、市民に開かれた窓口について考えてほしい。	市民利用のスペースと執務室を区分するとともに、市民が利用しやすいカウンターや相談室の配置を検討する。

テーマ「教育・子育て」について	
市民の意見	市長の考え
小学校の空調について、泉大津市と堺市には入っているが和泉市の予定は。	今年度中学校 1,2 年生に整備した。小学校すべてに空調を導入すると 12 億円ほど必要となる。ほとんどの家庭でエアコンが入っているし、学校でも学習環境を充実させる必要があるが、財源の問題もある。 和泉市ができていないということだが、逆に他市にない取組みを和泉市がしていることもある。空調が必要とは認識しており、考えていく。
ウェリス光明池は和泉市のようなが、光明池北小になると思うが、かなり遠い。堺市の美木多小が近いので任せられないのか。	校区は光明池北で、学校まで 2km ほどあると思う。役所から税金を投入してスクールバスを出すことはできないが、今後通学の安全

	確保などで和泉市ができることがあれば取り組む。
小中一貫校に興味がある。町内会で見学に行くことは可能か。	(事務局) まずは、政策企画室に連絡をいただければ、教育委員会へ繋がせていただく。今後も市内の小中学校をどうしていくかという議論のなかで、同じような要望もあると思うので調整させていただく。
青パトだがうちの校区は光明台南小の校歌を流しながら回っている。他の校区はマイカーに青色回転灯を載せているが、こちらは専用車で回っている。買い換えたがいつ壊れるかもわからない。青パトを入れ替える際には補助金が出ないか。	財政状況とも相談して決めていきたいが、車の購入助成は相当な金額となる。何かできそうであれば報告する。
命に関わる障がいを持っている人もいるので、支援教室への空調整備を優先・先行して検討していくとも聞いたので、お願いしたい。 和泉は名称から「水」をイメージする。自然を愛するということで、和泉市の空調をきれいにするというスタンスで新庁舎の空気清浄も検討してはどうか。	全体的に支援学級に入れていく考え方と、特に重篤な障がいを持つ生徒のいる教室から整備するのと2通りの方法があるが、命に関わる話でもあり、担当課と検討したい。 これから人口が減少する中、市税収入が増加する見込みはない。事業のスクラップアンドビルドを行いながら実施しており、必要だから入れるということとはできない。しばらく時間はいただきたい。 空気清浄まで実施する自治体はないと思うが、空調のコストダウンについては熱くなりすぎないようにするとか、光が差し込まないようにするなどの工夫はしていきたい。
待機児童がこれだけいるから保育園がどれだけ必要という議論ではなく、女性が社会進出する中で、そのためには子どもを預ける場がこれくらいは必要だからという観点で検討する必要がある。	待機児童は女性の社会進出に関するひとつの指標であり、そうした発想でも考えており、注視していきたい。
教育は、施設・制度の充実も大切だが、指導者の充実が大切。児童・生徒の指導・育成は指導者によるところが大きい。	学校現場でそれぞれが努力している。 小学校教員の3割が、中学校では6割が過労死ラインに達している。しかも学校教員には残業手当がつかない中で遅くまで残っている。これは調査報告など、教育以外の部分での仕事が多いようだ。こうした点は解消に

	努め、教育に力を入れられるように検討している。
--	-------------------------

その他	
-----	--

市民の意見・質問	市の回答
----------	------

<p>コミバスについて、65 歳以上は他市だと 100 円で乗れるが和泉市でも 100 円で乗れるようになるのはいつか。</p>	<p>市では健康寿命の延伸に力を入れて取り組んでいこうと考えている。外出する、歩くことも大事だが、色いろな人と交流することも大事である。その中で外出するための移動手段も考える必要がある。このために「めぐーる」がいいのか、バス・タクシーの助成がいいのか、色いろな手段がある。100 円バスもひとつと思うが路線バスのあるところ、ないところが存在する。時期も示すことはできないがお出かけ支援の考えを改めて示していきたい。</p> <p>(事務局)</p> <p>お出かけ支援は市長公約でもあり、検討のひとつとなっている。コミバスも含め、全体的な交通施策の中でどういうサービスが提供可能か、今年度から来年度にかけて検討することとなっており、そこで方向性を出していきたい。</p>
--	---

<p>高齢化社会について、光明台の高齢化率は30%を超えている。団塊の世代が 2025 年には 75 歳になると言われており、ますます高齢化が進んでいく。こういう中で日常の買い物や医療機関の受診について、今はマイカー利用もいるが、これも厳しくなる。公共交通機関の割引など総合的な交通体系を検討いただきたい。</p> <p>また、高齢家族の中、老老介護、家族間の支えや支援もままならない。介護サービス利用となるが、医療費・介護費用の増大となる。そうすると介護サービスカットが見えている。そうした分を個人がまかなうのか、行政がまかなうのかも検討をお願いします。</p>	<p>わかりました。</p>
--	----------------

高齢社会の中、車椅子利用が増えると思う	道路整備は順次進めている。和泉市も広いの
---------------------	----------------------

<p>が、道路施設の整備が必要。光明台地区ではまちがオープンして30～40年が過ぎている。この間道路施設に関しての公共投資がほとんど行われていない。家屋近くの道路には亀裂やでこぼこも見受けられる。</p>	<p>だが、光明台でもやれるところから実施している。</p>
<p>健康長寿は市にとっても重要ということだが、健康を維持増進させるための市の取組みについて、外出させることが大切と思うが、他の自治体ではインセンティブを与え、達成した場合に賞品を渡す取組みをしているそうで、大変好評とのこと。</p>	<p>現在ポイント制で検討している。 ふるさと納税の記念品をインセンティブとして渡すことも検討している。 すでに実施しているのはごみ出しの支援。</p>